

もくじ

えび人 vol.14	02	情報	09
今号の表紙	03	市民の広場	10
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
海老名のごみ事情 vol.6	06	相談	13
防災スタンプラリー	07	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日・時・日にち 期 間 時 間 場 所 対 象 定 員
 内 容 講 師 費 用 持 ち 物 其 他 任 期
 条 件 主 催 Eメール ホームページ 問 問 合 せ
 申 込 込 込 予 約 制 祝 日 を 除 く 休 日

 高齢者対象の教室など

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

新しい元号が公表されていないため、平成31年以降の年次についても「平成」で表記しています。

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

自然ゆたかな海老名が大好きです。
 社家小学校 樽木結羽さん(10歳)



写真

タイトル:朝焼けの海老名
 ジャンクション
 撮影場所:社家地区
 撮影者:上今泉在住
 茅野光廣さん



編集雑記

折笠さんには、活動内容を身振り手振りを交えながら熱心に説明していただきました。別の日のイベントにもお邪魔しましたが、当日は多くの方が集まり、さまざまな世代の方とお話ししながら入浴剤作りを教えていらっしゃいました。皆さんの楽しそうな笑顔がとても印象に残りました。(鳴)



東柏ケ谷四丁目自治会館で



自治会館を「女性が元気になる場」に

東柏ケ谷で自治会や子ども会育成会の役員を長年務めた父親の姿を見て育ち、地域活動で生まれる絆の大切さを身近で学んだ折笠さん。「私自身もPTAや自治会などの地域活動を10年以上行ってきた中で、お母さんの元気が家庭や地域を元気にすると感じた」と話します。そんな折笠さんが、昨年内の女性起業家4人とともに立ち上げたのが「女活」。「女性が元気になる」をコンセプトに、自治会館などで女性や親子を対象にしたお片付け相談やマブネット工作などのワークショップを開催。自治会館で行うのは、「いざという時に助け合える場所として自治会館を若い世代に知ってもらいたい」という思いから。徐々に活動が浸透してきた今、「地域活動に興味のある女性に、起業家として、活動を行う先輩として手助けをしていきたい」と話します。誰かがサポーター、誰もがプレーヤーを理念に、「朝活」などで女性が輝ける道づくりを進めます。



女活での「朝活」。子どもが学校に行っている時間帯を活用して女性起業家同士で情報交換

地区社協の3世代交流サロンでは入浴剤作りのワークショップを開催

今月のえび人

海老名発
 女性の活動を応援する会
 「女活」代表
 折笠麻紀さん
 (東柏ケ谷在住・50歳)

東柏ケ谷四丁目地区社会福祉協議会「かがやき」の副会長と女活代表の二足のわらじを履く。自宅でもぎ蒸しサロンを経営。生まれも育ちも東柏ケ谷。